

契約番号：

工事成績採点の考査項目別運用表(営繕)

別紙 7-1

工事名：

[記入方法]: 該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている。	施工管理が良好である。	施工管理が適切である。	施工管理がやや不適切である。	施工管理が不適切である。
		対象	評価	[評価対象項目]		
		☐	☐	施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当項目があれば.....e		
		☐	☐	施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば.....d		
		☐	☐	契約書第18条に基づく設計図書の照査結果を、適切に処理していることが確認できる。		
		☐	☐	施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。		
		☐	☐	施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。		
		☐	☐	施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。		
		☐	☐	工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。		
		☐	☐	使用する材料・機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。		
		☐	☐	一工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できる。		
		☐	☐	建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。		
		☐	☐	社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。		
		☐	☐	独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。		
		☐	☐	工事の関係書類及び資料整理がよい。		
		☐	☐	その他(理由:)		
		●判断基準 評価値が90%程度以上.....a 評価値が80%～90%程度.....b 評価値が60%～80%程度.....c 評価値が60%程度未満.....d				

① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。

② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。

③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100

④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。

契約番号:

工事成績採点の考査項目別運用表(営繕)

別紙 7-2

工事名:

[記入方法]: 該当する項目の□にレ マークを記入する。

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	出来形が特に優れている。	出来形が優れている。	出来形が特に良好である。	出来形が良好である。	出来形が適切である。	出来形がやや不適切である。	出来形が不適切である。
		対象	評価	[評価対象項目]				
		☐		出来形が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。 上記該当項目があれば.....e				
		☐		出来形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば.....d				
		☐	☐	承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。				
		☐	☐	施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。				
		☐	☐	施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。				
		☐	☐	出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。				
		☐	☐	出来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。				
		☐	☐	現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。				
		☐	☐	現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。				
		☐	☐	不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。				
		☐	☐	解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切に処分をしていることが確認できる。				
		☐	☐	その他(理由:)				
				●判断基準 評価値が90%程度以上.....a 評価値が80%～90%程度.....a' 評価値が70%～80%程度.....b 評価値が60%～70%程度.....b' 評価値が50%～60%程度.....c 評価値が50%程度未満.....d				
				※ 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。				
				① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。				

契約番号:

工事名:

工事成績採点の考査項目別運用表(営繕)

別紙 7-3

1/2ページ

[記入方法]: 該当する項目の□にレ マークを記入する。

※主な工種を一つ選択して評価する。

(検査員)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	建築工事	品質が特に優れてい る。	品質が優れている。	品質が特に良好であ る。	品質が良好である。	品質が適切である。	品質がやや不適切 である。	品質が不適切で ある。
			対象	評価	[評価対象項目]				
			☐	☐	品質が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。 上記該当項目があれば……………e				
			☐	☐	品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば……………d				
			☐	☐	材料・製品の品質が、制作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。				
			☐	☐	施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。				
			☐	☐	材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。				
			☐	☐	品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。				
			☐	☐	施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。				
			☐	☐	建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。				
			☐	☐	躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。				
			☐	☐	内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。				
			☐	☐	その他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。				
			☐	☐	不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。				
			☐	☐	中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。				
			☐	☐	その他(理由:)				
			●判断基準 評価値が90%程度以上……………a 評価値が80%～90%程度……………a' 評価値が70%～80%程度……………b 評価値が60%～70%程度……………b' 評価値が50%～60%程度……………c 評価値が50%程度未満……………d						
			① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。						
			※1. 目的物の品質の水準を評価すること。 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。						

Ⅲ. 出来ばえ	建築物	a		b		c		d		2/2ページ
		全体的な完成度が優れている。		全体的な完成度が良好である。		全体的な完成度が適切である。		全体的な完成度が劣っている。		
		対象	評価	[評価対象項目]						
		☐	☐	出来ばえが劣っている。 上記該当項目があれば……………d						
		☐	☐	きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。						
		☐	☐	関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。						
		☐	☐	使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。						
		☐	☐	仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。						
		☐	☐	色調が均一であり、色むら等がなく、全体的な美観が良好である。						
		☐	☐	材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。						
		☐	☐	保全に配慮した施工がなされている。						
		☐	☐	その他(理由:)						
		●判断基準		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。						
		※1. 全体的な仕上がり状態、機能进行评估する。 ※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。								

契約番号:

工事成績採点の考査項目別運用表(営繕)

別紙 7-4

工事名:

1/2ページ

[記入方法]: 該当する項目の□にレ マークを記入する。

(検査員)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e							
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	電気設備工 事・受変電設 備工事	品質が特に優れてい る。	品質が優れている。	品質が特に良好であ る。	品質が良好である。	品質が適切である。	品質がやや不適切 である。	品質が不適切で ある。							
			対象	評価	[評価対象項目]											
			☐	☐	品質が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。 上記該当項目があれば.....e											
			☐	☐	品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば.....d											
			☐	☐	機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。											
			☐	☐	施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。											
			☐	☐	機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。											
			☐	☐	品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。											
			☐	☐	施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。											
			☐	☐	施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。											
			☐	☐	システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。											
			☐	☐	システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。											
			☐	☐	不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。											
			☐	☐	中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。											
			☐	☐	運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。											
			☐	☐	その他(理由:)											
			●判断基準 評価値が90%程度以上.....a 評価値が80%～90%程度.....a' 評価値が70%～80%程度.....b 評価値が60%～70%程度.....b' 評価値が50%～60%程度.....c 評価値が50%程度未満.....d							① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。						
			※1. 目的物の品質の水準を評価すること。 ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。													

Ⅲ. 出来ばえ	電気設備工事・受変電設備工事	a		b		c		d		2/2ページ
		全体的な完成度が優れている。		全体的な完成度が良好である。		全体的な完成度が適切である。		全体的な完成度が劣っている。		
		対象	評価	[評価対象項目]						
		☐	☐	出来ばえが劣っている。 上記該当項目があれば……………d						
		☐	☐	きめ細やかな施工がなされている。						
		☐	☐	関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。						
		☐	☐	機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。						
		☐	☐	環境負荷低減への対策が優れている。						
		☐	☐	運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。						
		☐	☐	その他(理由:)						
				●判断基準 評価値が90%程度以上……………a 評価値が80%～90%程度……………b 評価値が80%程度未満……………c						
				① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。						
				※1. 全体的な仕上がり状態、機能を評価する。 ※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。						

契約番号:

工事成績採点の考査項目別運用表(営繕)

別紙 7-5

工 事 名:

1/2ページ

[記入方法]: 該当する項目の□にレ マークを記入する。

(検 査 員)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	暖冷房衛生 設備工事・ 機械設備工 事	品質が特に優れてい る。	品質が優れている。	品質が特に良好であ る。	品質が良好である。	品質が適切である。	品質がやや不適切 である。	品質が不適切で ある。
			対象	評価	[評価対象項目]				
			☐	☐	品質が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。 上記該当項目があれば……………e				
			☐	☐	品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば……………d				
			☐	☐	機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。				
			☐	☐	施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。				
			☐	☐	機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。				
			☐	☐	品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。				
			☐	☐	施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。				
			☐	☐	施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。				
			☐	☐	システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。				
			☐	☐	システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。				
			☐	☐	不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。				
			☐	☐	中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。				
			☐	☐	運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。				
			☐	☐	その他(理由:)				
			●判断基準 評価値が90%程度以上……………a 評価値が80%～90%程度……………a' 評価値が70%～80%程度……………b 評価値が60%～70%程度……………b' 評価値が50%～60%程度……………c 評価値が50%程度未満……………d						
			① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。						
			※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。 ※2. 目的物の品質の水準を評価すること。 ※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。						

Ⅲ. 出来ばえ	暖冷房衛生 設備工事・ 機械設備工 事	a		b		c		d		2 / 2 ページ
		全体的な完成度が優れて いる。		全体的な完成度が良好 である。		全体的な完成度が適切 である。		全体的な完成度が劣っ ている。		
		対象	評価	[評価対象項目] ☐ 出来ばえが劣っている。 上記該当項目があれば……………d ☐ ☐ きめ細やかな施工がなされている。 ☐ ☐ 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 ☐ ☐ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 ☐ ☐ 環境負荷低減への対策が優れている。 ☐ ☐ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐ ☐ その他(理由:) ●判断基準 評価値が90%程度以上……………a 評価値が80%～90%程度……………b 評価値が80%程度未満……………c ① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。 ※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。 ※2. 全体的な仕上がり状態、機能进行评估する。 ※3. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がり状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。						

契約番号:

工事名:

工事成績採点の考査項目別運用表(営繕)

別紙 7-6

1/2ページ

[記入方法]: 該当する項目の□にレ マークを記入する。

(検査員)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	解体工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しな い	文書で指示を行った	修補指示を行った
対象 評価 [評価対象項目] ☐ 品質が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。 上記該当項目があれば……………e ☐ 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば……………d ☐ ☐ 産業廃棄物の処理が適切でかつ創意工夫がある。 ☐ ☐ 分別解体が適切でかつ創意工夫がある。 ☐ ☐ 施工計画書に施工調査に基づく作業方法・手順、仮設、騒音・振動・粉塵対策等が明記され、これにより管理されている。 ☐ ☐ 施工計画書に安全対策(仮設計画、安全衛生管理、近隣対策等)が明記され、これにより管理されている。 ☐ ☐ 施工計画書に産業廃棄物の処理、リサイクル計画が明記され、これにより管理されている。 ☐ ☐ 産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付し適正に管理し、記入漏れがない。 ☐ ☐ 写真記録が的確に撮影され、適正に管理されている。 ☐ ☐ 建設リサイクル法に基づいて適正に処理している。 ☐ ☐ 建設副産物適正処理推進要綱に基づき委託契約がなされ、適正に処理している。 ☐ ☐ 特別管理産業廃棄物(廃石綿、PCB含有廃棄物等)の処理・保管等が適正である。 ☐ ☐ 再生資源利用・促進計画書(実施書)が提出されている。(本センサス) ☐ ☐ 処理場所、処理数量(集積表共)、運搬距離、運搬経路が明確であり、書類・写真等で確認出来る。 ☐ ☐ 処理場所状況と処理場所が写真等で確認出来る。 ☐ ☐ 適宜、下請業者の処理状況を確認している。 ☐ ☐ その他(理由:) ●判断基準 評価値が90%程度以上……………a 評価値が80%~90%程度……………a' 評価値が70%~80%程度……………b 評価値が60%~70%程度……………b' 評価値が50%~60%程度……………c 評価値が50%程度未満……………d									
① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。									

Ⅲ. 出来ばえ	解体工事	a		b		c		d		2/2ページ
		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		劣っている		
		対象	評価	[評価対象項目]						
		☐	☐	出来ばえが劣っている。 上記該当項目があれば……………d						
		☐	☐	工事区域と区域外との納まりがなめらかで段差等がない。						
		☐	☐	整地後の平坦性が確保され、解体後の残存物がなく均一な地表(質)が確保されている。						
		☐	☐	関連工事との調整がなされ全体に調和がとれている。						
		☐	☐	整地後の利用者の安全に対する配慮が適切である。						
		☐	☐	工事完了後の設備関係の処理や表示が適切であり、後利用に支障がない。						
		☐	☐	既存部分や関連設備との調整がなされている。						
		☐	☐	その他(理由:)						
		●判断基準		評価値が90%程度以上……………a 評価値が80%～90%程度……………b 評価値が80%程度未満……………c						
		① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。								

契約番号:

工 事 名:

工事成績採点の考査項目別運用表(営繕)

別紙 7-7

1/2ページ

[記入方法]: 該当する項目の□にレ マークを記入する。

(検査員)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	種別が当て はまらない工 事又は合併 工事	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しな い	文書で指示を行った	修補指示を行った
対象 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 評価 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ [評価対象項目] 品質が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。 上記該当項目があれば……………e 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。 上記該当項目があれば……………d 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: ●判断基準 評価値が90%程度以上……………a 評価値が80%～90%程度……………a' 評価値が70%～80%程度……………b 評価値が60%～70%程度……………b' 評価値が50%～60%程度……………c 評価値が50%程度未満……………d									
① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。									

Ⅲ. 出来ばえ	種別が当てはまらない工事又は合併工事	a		b		c		d		2/2ページ
		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		劣っている		
		対象	評価	[評価対象項目]						
		☐	☐	出来ばえが劣っている。 上記該当項目があれば……………d						
		☐	☐	理由:						
		☐	☐	理由:						
		☐	☐	理由:						
		☐	☐	理由:						
		☐	☐	理由:						
				●判断基準 評価値が90%程度以上……………a 評価値が80%～90%程度……………b 評価値が80%程度未満……………c						
① 「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェックし、評価すべき項目でない場合は空白のままとする。 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全てに該当してもc評価とする。										